

いちご いちえ

[Ichigo Ichie]

JA SANO
Communication
Message.

JA佐野

「いちごいちえ」はJA佐野から街の皆様へのコミュニケーション・メッセージです。たくさんの人々に「食」の喜びを伝え、これからの「農」を支えていくことがコンセプトです。

佐野農業協同組合 栃木県佐野市金谷町 2351 TEL.0263-20-2000

<http://www.jasano.jp>

2012.08

NO.

02



佐野市柿平町

果樹栽培の説明を聞く佐野短大栄養フィールドの学生たち

広がる、広がれ 農業サポーター

消費者との信頼関係の構築を目指して

食と農業に関する モニター制度

「食と農業に関するモニター」は、意見交換や現地交流会等を通して、信頼関係の構築を目指す制度です。
23年度は36名の消費者がモニターとして登録し、交流会を2回開催しました。
生産者との交流や生産現場、農業食料関連施設での現地検討などを通して、①食の安全性の検証、②生産物の栽培・生産方法の確認、③生産物のトレーサビリティ（生産履歴管理）の検証などを行っています。
今年3月に行った意見交換会では、イチゴの生産工程や栽培方法、技術などの説明を受けた後、ハウスで収穫を体験、大粒大実を使った菓子工場を視察した他、地産地消の取り組み事例が紹介されました。
24年度も同様の制度を継続し、消費者との信頼関係の構築に取り組みます。
JA佐野果樹部会では、佐野短大栄養フィールド所属の学生による果樹園見学を受け入れました。

食の安全確保に向けて —— 行政との取り組み ——

震災に伴う放射線汚染は私たちのくらしに深刻な不安をもたらしています。農産物の出荷自粛や出荷制限の発動は、市場価格を下落させ、農家経営に大きな打撃を与えています。
そうした状況の中、各都道府県では市町村や農業団体の要請を受け、モニタリング検査を実施、出荷制限等の品目・区域の設定、解除を判断しています。
佐野市を管轄する安全監査課事務所では、定期的に「スクリーニング検査」を実施し、生産者や地域住民の安全安心に対する不安の解消に取り組みしています。JA佐野では、イチゴやかき菜などを対象として、定期的なスクリーニング検査を依頼しています。

第3期 あぐりスクール 「夢」を開校

今年5月、食農教育の学校「あぐりスクール「夢」」が開校しました。佐野市内の小中学生を対象に3期目になります。今回は会場を北部と南部の2会場に分けて実施しています。南部地区4クラスと北部地区2クラスの計98人が参加しています。各クラスの担任副担任はJA職員が受け持ち、栽培の指導をする「家庭講師」、農産物の調理方法を担当する「生活班」も職員が担当しています。JAの青壮年部女性会メンバーも活動に参加しています。
来年1月の開校式までに毎月1回、計8回の活動を予定しています。

未来へつなげよう、信頼の輪。

農産物に対する消費者の関心は年々高まっています。安全・安心な農産物を届けようとする生産者も懸命な取り組みを行なっています。お互いを知れば絆は深まり、信頼の輪は未来へとつながっていきます。

「人生で一番幸せなのが『健康』。その源が『食』です。健全な精神は健康な体から生まれます。今後、栽培履歴記載の徹底など安全・安心な製法に取り組み、イチゴ、梨作りなどの農業体験により、消費者との交流を深めたいと思います。」

JA佐野 果樹部会
川村 貞夫 部会長

JA佐野 なす部会
篠崎 正男 部会長

「部会員の中には個人的に朝市等に参加し、地場の野菜の良さを売り込んでいる仲間もいます。地元産品の地場野菜コーナーなどをうまく活用して、地元消費者の皆さんに、よりおいしい農産物を届けたいと思います。」

今が旬! 5kg箱入 10名様
梨をプレゼント!

応募方法: お名前・年齢・ご住所・お電話番号・「いちごいちえ」へのご意見・ご感想を明記の上、ハガキまたはFAX、Eメールにて応募下さい。

宛先: 〒327-0007 佐野市金吹町2351 JA佐野総務課
FAX: 0283-20-2319
Eメール: info@jasano.jp

応募締切: ■ハガキ ■FAX・Eメール
■8月末日消印有効 ■8月末日17:00必着

募集しています!
食と農業に関するモニター

意見交換や現地交流会などを通し、消費者の視点から食の安全性について確認・検証してみませんか?

募集期間: 平成24年9月から25年3月末まで

募集内容: ●モニター現地検討会
●食と農業に関するシンポジウムなどへの参加
●食と農業に関する情報提供 など

応募資格: 佐野市内にお住まいの、18才以上で食料や農業に関心のある方

申込先: JA佐野 営農・支援課 TEL.(24)3420

募集人員: 30名(定員になり次第締め切り)
モニターへの謝礼として現地検討会開催時に旬の農産物を贈呈いたします。

申込期日: 平成24年8月31日(金)

8/6月 12日 お盆の特売
目玉商品あり! 会員向け特売品もあります!

ブルーベリー狩りをお楽しみ下さい!
ブルーベリー農園開園中!

入園料: ●大人(中学生以上) 600円
●子供(小学生) 400円
●幼児(3歳以上) 300円
※1日10組まで(先着順)
農園の採れたブルーベリーを使ったジャム作りです!

施設内の工房で毎日製造!
旬の果実を使った
ジェラートアイス!

大好評! 一度味わってね!

ひまわり5万本の巨大迷路登場!!
8月全旬から中旬まで、あなたの挑戦を待っています。

入園料: ■中学生以上 300円
■小学生 200円
■3才~未就学児 100円

JA佐野 食と花の駅
アグリタウン 花の停車場

tel.0283-20-5215
http://agritown.jp/

ちょっと
一息

支店での プランター栽培

J Aの各支店では現在、プランターで野菜を栽培しています。ナスやキュウリ、トマトなど旬の野菜が育っています。



水やりなどの管理は支店の職員が行っています。この取り組みには、非農家の職員が増える中、農作業の話にも対応できるように、野菜作りの楽しさを体感してもらおうねらいがあります。

収穫した野菜は漬け物などにして「成果」を堪能しています。

パッション フルーツ 栽培



主に沖縄や奄美諸島といった亜熱帯地方で栽培されているパッションフルーツ。JA佐野では、導入に向けた試験栽培を続けています。昨夏、各支店に1鉢ずつ交付し、越冬した支店では現在も栽培が続いています。

挿し木で育てた苗は、グリーンカーテン用に市内幼稚園にも贈りました。

現在、50本近く栽培しており、10月頃まで収穫できます。今後、アイスクリームやジャム、ジュースなど加工品としての活用を検討していきます。



SANOTAN COOKing隊

サノタンクッキングタイ

佐野短期大学の学生たちが考えた旬の食材を使ったレシピを紹介します。

佐野短期大学 総合キャリア教育学科
栄養フィールドの皆さん

今回の旬食材

ナス

【夏野菜のそぼろ炒め】



■栄養価(1人分)

エネルギー151Kcal タンパク質9.5g 脂質8.8g 炭水化物9.1g カルシウム81mg
鉄1.3mg ビタミンA68μgRE ビタミンB₁0.25mg ビタミンB₂0.16mg
ビタミンC74mg 食物繊維2.4g 食塩1.3g



材料(2人分)

- ナス 1個
- キュウリ 1本
- パプリカ(赤、黄) 各1/4
- 木綿豆腐 1/3丁
- 豚ひき肉 50g
- 油 大さじ1/2
- 塩 ひとつまみ
- こしょう 少々
- めんつゆ(3倍濃縮) 大さじ1

作り方

1. ナス、キュウリ、パプリカを洗い、小さめのさいころ状に切ります。
2. 木綿豆腐をキッチンペーパーに包み、電子レンジに1分かけ、水気をきります。
3. フライパンに油を引き、ひき肉の色が変わるまで炒め、塩、こしょうをふります。
4. ナス、キュウリ、パプリカをしんなりするまで炒め、木綿豆腐を崩しながら加えます。
5. 軽く混ぜてから火を止め、皿に盛り付けてめんつゆをかけます。

COOKing隊長〈コメント〉

ナスは、生でよし、加熱してよしのどんな味付けにも向く夏野菜の代表です。今回の料理は夏のもうひとつの代表選手のキュウリと一緒に炒め、彩りよく仕上げました。食感よくさっぱりといただけます。豆腐とひき肉を加えることで、タンパク質も摂れて夏バテ防止にも役立ちます。暑い夏、簡単にめんつゆを利用して調理時間を短縮してください。地元で採れた旬の野菜はそれだけでもおいしいものです。ぜひ利用してみてください。

佐野短期大学 総合キャリア教育学科 藤田 睦 講師



ヤギの可能性に思う

Column

農業従事者の高齢化などにより、耕作ができず、雑草が生い茂る農地が増えていきます。耕作放棄地の増加はイノシシやシカなどによる獣害を助長しているとの指摘もあり、問題になっています。

牛や羊などを使った耕作放棄地対策は全国で始まっており、市内でもヤギを利用した事例(除草対策含む)を目にします。ヤギは小型であるため扱いやすく、人なつっこい性格であることから、素人にも飼育可能な動物です。

トラクターや刈払い機など機械を使っでの作業は、省力的かつ効率的かも知れません。ただ、山間の傾斜地、石が多い場所、狭い土地など機械が入りづらい場所では、小動物の活用も選択肢の一つであることは事実です。

ヤギから出るミルクや肉その他の産物など加工品の利用も増えてくるかも知れません。



国際協同組合年

「IYC」って何?

国連では昭和32年より「国際年」を設けています。平成21年の総会では平成24年を国際協同組合年とすることを宣言。現在、国内においてさまざまな取り組みが行われています。

宇都宮市内で行われた協同組合まつりでは、野菜や肉・加工品の販売が行われました。このイベントにはJA佐野も出店し、女性の活動報告も行いました。



2012
国際協同組合年